

【第3編 資産運用 2-33】投資でも注目される SDGs とは(6)

安全な水とトイレのある生活を

(1)皆さんに考えてほしいこと

- ①安全な水とトイレを世界中へ届けるためには、
みなさんなら、どのようなことを考えるでしょうか？
- ②そして、その取り組みを実行することのできる企業とは、
どのようなところがあるでしょうか？

(2)クイズ

世界における水不足の影響は、2015 年時点で、
およそどのくらいの割合でしょうか。

- 1.約 20%
2.約 30%
3.約 40%
4.約 50%

→ANS.3

(3)安全な水とトイレのある生活を世界中に

→すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する

①全ての人々の、安全で安価な飲料水の普遍的かつ衡平なアクセスを達成する

②全ての人々の、適切かつ平等な下水施設・衛生施設へのアクセスを達成し、
野外での排泄をなくす。女性及び女兒、並びに脆弱な立場にある人々の
ニーズに特に注意を払う

③汚染の減少、投棄の廃絶と有害な化学物・物質の放出の最小化、
未処理の排水の割合半減及び再生利用と安全な再利用の世界的規模で
大幅に増加させることにより、水質を改善する

④全セクターにおいて水利用の効率を大幅に改善し、
淡水の持続可能な採取及び供給を確保し水不足に対処するとともに、
水不足に悩む人々の数を大幅に減少させる

⑤国境を越えた適切な協力を含む、あらゆるレベルでの
統合水資源管理を実施する

⑥山地、森林、湿地、河川、帯水層、湖沼を含む水に関連する
生態系の保護・回復を行う

⑦水と衛生に関わる分野の管理向上における地域コミュニティの参加を
支援・強化する …など

(4)世界の水不足はこれからも続く

①2011 年、41 か国が水ストレス経験

→そのうち 10 か国が再生可能な淡水が枯渇寸前となったことで、
新たな水源確保が急務となった

②2050 年においても水源問題は継続するものと予想され、
4 人に 1 人以上が慢性的な水不足の影響を受ける可能性が高い

(5)水不足の対策として

①安全安価な飲み水への普遍的なアクセスを確保するための
インフラへの整備投資が必要

②衛生施設の提供により、あらゆるレベルでの衛生状態の改善を促すことが必要

③水不足を緩和には、森林、山地、湿原、河川など、
水関連の生態系の保護と回復が不可欠